

e-learning 学習内容

「がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会の開催指針」により定められている標準プログラムは、以下の通りです。

医師・歯科医師は全ての科目を受講する必要があります。その他の医療従事者は、①～⑩は必修、⑪～⑮については、このうち2科目以上を受講します。

◆緩和ケア研修会標準プログラムe-learning◆

<科目>

- ① 患者の視点を取り入れた全人的な緩和ケア（がんと診断された時からの緩和ケアについての説明を含む。）
- ② 苦痛のスクリーニングと、その結果に応じた症状緩和及び専門的な緩和ケア（緩和的放射線や神経ブロック等）へのつなぎ方
- ③ がん疼痛の機序、評価及びWHO方式のがん疼痛治療法を基本とした疼痛緩和に係る治療計画などを含む具体的なマネジメント方法（医療用麻薬に関する誤解を踏まえた上で、医療用麻薬の使用上の注意点、副作用やその対策への説明、医療用麻薬の提供における多職種役割、緩和的放射線や神経ブロック等の薬物療法以外の疼痛治療法に関する内容を含む。）
- ④ 呼吸困難等の身体的苦痛に対する緩和ケア（治療に伴う副作用・合併症等の身体的苦痛の緩和を含む。）
- ⑤ 消化器症状等の身体的苦痛に対する緩和ケア（治療に伴う副作用・合併症等の身体的苦痛の緩和を含む。）
- ⑥ 不安、抑うつ等の精神心理的苦痛に対する緩和ケア
- ⑦ せん妄等の精神心理的苦痛に対する緩和ケア
- ⑧ がん等の緩和ケアにおけるコミュニケーション（患者への悪い知らせの伝え方、がんと診断された時から行われる当該患者の治療全体の見通しについての説明や患者の意思決定支援を含む。）
- ⑨ がん患者等の療養場所の選択、地域における連携、在宅における緩和ケアの実践
- ⑩ アドバンス・ケア・プランニング、家族の悲嘆や介護等への理解、看取りのケア、遺族に対するグリーフケア
- ⑪ がん以外に対する緩和ケア
- ⑫ がん疼痛、呼吸困難、消化器症状以外の身体的苦痛に対する緩和ケア
- ⑬ 不安、抑うつ、せん妄以外の精神心理的苦痛に対する緩和ケア
- ⑭ 緩和的放射線治療や神経ブロック等による症状緩和に関する基礎知識
- ⑮ 社会的苦痛に対する緩和ケア

指針	教科名		学習時間の目安
①	R01	緩和ケア概論	30 分
②	R02	全人的苦痛と包括的アセスメント	20 分
③	R03	がん疼痛	100 分
④	R04	呼吸困難	25 分
⑤	R05	消化器症状	25 分
⑥	R06	気持ちのつらさ	30 分
⑦	R07	せん妄	25 分
⑧	R08	コミュニケーション	35 分
⑨	R09	療養場所の選択と地域連携	15 分
⑩	R10	ACP、看取りのケア、家族・遺族ケア	20 分
		L（任意受講）がん患者の治療抵抗性の苦痛と緩和	30 分
⑪	S10	がん以外の疾患に対する緩和ケア	
		S11 がん以外の疾患に対する緩和ケア（総論）	10 分
		S12 心不全の緩和ケア	15 分
		S13 非がん呼吸器疾患の緩和ケア	15 分
		S14 腎不全の緩和ケア	15 分
⑫	S20	その他の身体的苦痛に対する緩和ケア	
		S21 倦怠感	15 分
		S22 がん患者の泌尿器症状	15 分
		S23 がん患者の口腔症状の緩和	15 分
⑬	S31	不眠	15 分
⑭	S40	緩和的放射線治療・神経ブロック・IVRによる症状緩和	15 分
⑮	S51	社会的苦痛に対する緩和ケア	15 分